

ムーシールドの誕生

吉祥寺やなぎさわ矯正歯科 柳澤 宗光



略歴

- 1974年 日本大学歯学部卒業
- 1974年 日本大学歯学部小児歯科学教室
- 1980年 歯学博士取得
- 1983年 調布矯正歯科クリニック開院
- 1989年 日本小児歯科学会認定医
- 1990年 日本矯正歯科学会認定医
- 1993年～ 日本大学歯学部小児歯科学講座兼任講師
- 2003年 佐藤賞受賞（日本大学歯学部）
- 2004年～ラオス国立ヘルスサイエンス大学医学部名誉教授
- 2018年 東京神学大学卒業
- 2020年 東京神学大学大学院修了

ムーシールドのコンセプト、そして、その治療結果が公の場所で明らかにされたのは、1985年、日本矯正歯科学会（新潟）のことです。それ以来、およそ40年の時を経ました。2004年、既製品として、発売されて、およそ25万症例が世に出て行きました。

「機能的顎矯正法」の根幹をなしているものは、不正咬合の「原因」にアプローチしようとする姿勢です。「機能的顎矯正法」は、「原因療法」と、言葉を置き換えることもできます。それに対し、治療手段として、形態をワイヤー又は、外部からの圧力によって修正を目指す療法を、「対症療法」と言う事ができます。

反対咬合の逆被蓋の状態が、上顎の成長を阻害し、下顎の成長を促進すると考えることに矛盾はありません。従って、より低年齢時期に逆被蓋の状況から、「解放する」ことが求められています。反対咬合の逆被蓋は、より早期に、まず「初期の治療」をしておくべきです。

不正咬合の原因は、筋機能のバランス、とりわけ口腔周囲筋群の不調和にあります。従って、筋機能のバランスを取り戻すことにより、不正咬合は改善されます。ムーシールドは、「強い筋機能を抑え」、「弱い筋機能を鍛える」事により、「正しい筋機能のバランス」を取り戻す事を目的とした「原因療法」にアプローチする「筋機能訓練装置」といえます。

症例を供覧し、考え方をよりご理解戴きたいと考えています。